

第6回 放射線管理士セミナー 開催後記

神奈川県放射線管理士部会 副部会長
川崎市立多摩病院 吉田 篤史

平成26年11月1日(土)に山梨県診療放射線技師会放射線管理士部会と神奈川県放射線管理士部会の共催で「第6回放射線管理士セミナー」が山梨県立中央病院にて開催されました。テーマを「原子力災害における診療放射線技師の役割」と題し、41名の参加者を集め実習企画も盛り込んだ非常に活気のある講習会となりました。

濱田部会長より神奈川県放射線管理士部会の活動報告、原子力災害を想定した取り組みについての発表があり、佐藤部会長からは山梨県放射線管理士部会の動向、原子力災害は決して他県の問題ではない事の発表がありました。

また、特別講演として日本放射線公衆安全学会の諸澄邦彦会長より「福島原発事故から惹起された放射線被ばく線量の考え方」があり。原発事故以来急増している一般公衆の放射線被ばくへの不安を、日常業務で放射線を取り扱う我々診療放射線技師が少しでも軽減してあげられるように、放射線影響についての知識の必要性、医療被ばく管理の重要性とその責任の大きさをご講演され、私も診療放射線技師としての責務の大切さを改めて認識しました。

実習企画ではすでに全国区で採用されようとしているスクリーニング方法の、「セグメント法」※1の紹介を行ったあと、実際に測定器を使用し、模擬線源を隠した市民役の方から汚染箇所を発見していくようなゲーム形式で行いました。参加者の皆さんからは非常に好評で、とても楽しそうにセグメント法を実践していたのが印象的でした。

最後に意見交換会を行いました。各講演内容以外にも放射線管理士活動に関する事、実際の災害派遣現場での事、日本診療放射線技師会が行っている被ばく相談員についての疑問点など、非常に活発な意見交換会となり有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。

神奈川県放射線管理士部会では、今後も継続的に他県との共催にて講習会を企画・開催し、本セミナーをますます発展させていきたいと考えています。

この場を借りて、神奈川県放射線管理士部会の皆様、山梨県診療放射線技師会の皆様にご尽力頂き本セミナーが成功裏に終わったことを深く感謝いたします。

※1セグメント法：横須賀三浦放射線技師会原子力災害特別派遣チーム（通称 NAS チーム）が考案したサーバイメータを使用したスクリーニング方法。

